

2011年5月合肥中日企業家シンポジウム

合肥市政府のシンポジウムに対する意向：

株式会社和田総研および安徽三聯集団からの中日起業家シンポジウムの合肥開催についての提案に対し、政府側は、合肥市の区域、資源、環境の優勢を十分に発揮するため、金融危機後に日本企業はスピード的に海外まで移転するチャンスを合肥側でも提供し、積極的に日本企業（特にサービス業）と提携し、交流及び合作を強めるため、2011年5月に合肥で2011年中日企業家シンポジウム（合肥）を開催すると決定した。

一、 宗旨

国際産業移転の流れに順応、日本企業の発展政策及び理念を参考にして、日本企業との提携を強め、互いの優勢を有効利用し、発展を図る。

二、 全体のデザイン

1. 開催日時：2011年5月22-24日
2. 開催場所：合肥世紀金源大酒店等（候補）
3. テーマ：日本から合肥への産業移転につなげ、現代のサービス業の発展促進
4. 規模：約700人で、その中の300人は日本企業家、300人は合肥を含めた全国の企業家、100人は有名な学者及び政府幹部
5. 主催：合肥市政府、中日工商交流協会（準備中）
6. 業務遂行：合肥市商務局、安徽三聯集団、日本和田総研株式会社
7. 後援：安徽省政府、全国工商聯、中日友好協会、日中友好協会、日本国際交流協会、日中協会
8. 大連市工商聯、温州市工商聯、武漢市工商聯、成都市工商聯など

三、 主要活動

5月22日

1. 省、市の幹部は日本側の主要代表との会見
2. 開幕式及びテーマ論壇
 - 形式： 開幕式後、講師別にそれぞれの部屋に移動し、興味のあるテーマ・講師の会場に参加者も移動する
 - 講演者： 中日政府幹部、中日学者や専門家、中日有名な企業家、約6-8人
3. 合肥投資環境説明会及びプロジェクト関連の商談・交渉
4. 歓迎晩餐会

5月23日

1. 業種分野・サービス分野別に会場を設定し、選定した日本企業からサービス紹介をプレゼンテーションする
2. バイキング形式の昼食を取りながら、交流する
3. それぞれの会場で商談会の実施

5月24日

1. 合肥現地視察
 - 時間・場所：午前中 ・ 合肥市内
 - グループに分けて滨湖新区、合肥に駐在している日本企業及び合肥の名所旧跡への訪問
2. 区、県開発区からの訪問招待
 - 時間・場所：午後～晩まで・各県、区、開発区を日本企業は訪問

四、仕事分担

三聯集団、日本和田総研株式会社：

- 1、300名の日本企業家及び日本政府幹部を集客・招請
- 2、サポートの協力要請を 安徽省政府、全国工商聯、中日友好協会、日中友好協会、日本国際交流協会、日中協会、大連市工商聯、温州市工商聯、武漢市工商聯、成都市工商聯などに向けて依頼
- 3、国家工商聯など部級幹部の招請
- 4、日本企業及び政府幹部の交通、食事などの手配

合肥市：

- 1、300名の中国企業家を招請する
- 2、合肥に来る企業の市内参観、交通、食事、宿泊、安全保障を担当
- 3、会議に関する手配
- 4、項目紹介。

五、経費に関して

予想政府側発生費用：150 万元。この内訳については未定

※ 一月下旬より春節のため、政府側との会談を持てない状況にあるため詳細については確定段階には至っていないが、予算計上を伴った合肥政府主催という立場で、2011年5月22日～24日に合肥で中日企業家のシンポジウムを開催することは合肥市政府側からの提案されていることなので決定していると考えられる